

## 学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒  
命 を大切に作る生徒  
絆 を互いに深め合う生徒



# 須和田が丘

令和5年度  
学校だより No. 22  
令和6年3月25日

市川市立第二中学校  
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

## 第75回 卒業証書授与式

3月13日(水)、穏やかな春の日差しの中、無事、第75回卒業証書授与式を執り行うことができました。205名の卒業生が晴れやかな表情で卒業証書を受け取り、胸を張って卒業していきました。

今年度は数年ぶりに在校生として2年生も式に参加しました。代表生徒による「送辞」や「送別の歌」は心がこもっていてお世話になった先輩への思いが伝わりました。1年生も卒業生の教室の装飾など様々な準備を気持ちを込めて行ってくれました。

式辞では「出会いを大切に、夢中になれるものを見つけてほしい」(夢)、「人は皆、一人一人が、ありのまま、そのままでかけがえのない存在だということを、いつも忘れずにいてほしい」(命)、「仲間とともに、喜びと希望を持って未来を拓く人になってほしい」(絆)、という3つのことをお話ししました。

卒業生の姿勢は終始、ずっと背筋が伸びていて立派でした。そしてそれは強要されたものではなく、穏やかで凛とした心が自然に表れたものということも伝わってきました。担任の呼名にこたえる卒業生の返事は、みな力強く、感謝の気持ちと決意がこもっていました。

式の終盤は司会が卒業生に代わり、自分の言葉を添えながら卒業生が関わる部分の進行を務めました。3年生代表の「答辞」には3年間の大切な思い出、先生方やお家の人などお世話になった方々への感謝、ともに過ごした仲間との強い絆…いろいろな想いが詰まっていて、会場の全ての人の心に響きました。そして…最後の3年生の卒業の歌「帰らざる日のために」は本当に圧巻の歌声でした。

巣立っていく卒業生、送り出す先生方、見守る保護者の皆様の様々な思いがしっかりと感じられる、とても素敵な式でした。これまで二中を引っ張ってくれた素晴らしい卒業生の皆さんに、改めて感謝の気持ちとエールを贈りたいと思います。今までありがとう。これからも頑張ってください。



## 来年度の体育祭について

現在、来年度の年間行事予定を作成しているところですが、体育祭を平日に開催することを検討しています。今年度までは生徒の頑張っている姿をできるだけ多くの保護者や地域の方にも見ていただきたいという思いから土曜日開催を基本としてきました。しかし、休日に開催すると部活動の大会や外部チームの試合・英語検定等と日程が重なり、どちらかを欠席せざるを得ない生徒が一定数必ず出てしまいます。最後の体育祭に参加できず、とても残念な思いをする3年生の姿が毎年ありました。

このことについて、これまではやむを得ないと考えてきたのですが、「つらい思いをする生徒が出てしまうのであれば、平日開催を検討してもいいのではないか」という保護者のご意見を複数いただいたことから、開催日について検討を進めてきました。PTA本部会や学年委員会、学校運営協議会などで話題にしたところ、「事前に日程が分かれば平日に休暇を取ることが難しくない職場が多くなっている。平日開催でもいいのではないか」と保護者や地域の代表の皆さんのご賛同をいただきましたので、この方向で来年度の行事予定を作成しています。具体的な日程は新年度初めの職員会議で正式に決定し次第、お示しいたします。ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

## 1年間のご支援に感謝申し上げます

本日、令和5年度の修了式を終えました。5月の5類移行を受けてコロナによる制限がほぼなくなり、学校生活を本格的に再構築していく1年であった今年度でしたが、無事1年間の教育課程を終えることができました。生徒たちは何事にも前向きに主体的に取り組み、それぞれ大きく成長した姿を見せてくれました。これもひとえに、保護者・地域の皆さまのご理解ご協力のおかげと、心より感謝しております。1年間本当にありがとうございました。

学校生活の様子を、二中ブログ(HP)に掲載しています。ぜひチェックしてみてください!

